

別紙

## 福祉サービス第三者評価の結果

### 1 評価機関

名称：特定非営利法人 環境・福祉事業評価センター	所在地： 長野県長野市南高田2丁目5番地16
評価実施期間： 30年8月24日から31年3月11日	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 060741 050301 B18055	

### 2 福祉サービス事業者情報（平成30年11月現在）

事業所名： （施設名）上松町立上松保育園	種別： 保育所	
代表者氏名：町長 大屋 誠 （管理者氏名）園長 牧野由起子	定員（利用人数）：120(111)名	
設置主体：上松町 経営主体：上松町	開設（指定）年月日： 平成 20年4月1日	
所在地：〒399-5607 長野県木曾郡上松町緑町3丁目5番地		
電話番号：0264-52-2086	FAX番号：0264-52-2376	
ホームページアドレス： <a href="http://www.town.agematsu.nagano.jp">www.town.agematsu.nagano.jp</a>		
職員数	常勤職員： 13名 非常勤職員 20名	
専門職員	（専門職の名称）	
	・園長 1名	
	・主任保育士 1名	
	・保育士 10名	・保育士 12名 ・保育支援員 3名
	・調理員 1名	・調理員 4名 ・栄養士 1名
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	・乳児室 1室	・砂場
	・ほふく室 1室	・ブランコ
	・保育室 7室	・ジャングルジム
	・遊戯室 1室	・鉄棒
	・調理室 1室	・複合遊具
	・事務室 1室	
	・トイレ 7室	

### 3 理念・基本方針

<b>保育理念</b> ・児童福祉法に基づき、保育に欠ける全ての子ども最善の利益を守り、家庭や地域と連携をはかり、子どもを愛護し、健康・安全で、情緒の安定した生活環境を整える。 ・家庭との連携を密にして、子どもの育成状況や、発達の過程を踏まえ、集団生活の中で、子ども一人ひとりの能力を伸ばし、豊かな人間性を育てる。 ・育児相談等を積極的に受け、さまざまな人や場所、専門機関などと連携を図り、安心して子
---

育て、子育てができる開かれた環境を整える。

### 保育目標

- ・安全で豊かな保育環境の中で、健康な身体と感性を育て、生命の保持と情緒の安定をはかり、意欲的に生活できるようにする。
- ・生活に必要な基本的習慣態度を養い、主体的に見通しをもって生活できる自律心と、生きる力の基礎を培う。
- ・基礎的な運動能力を養い積極的に運動する態度を身につける。
- ・親や保育士等の信頼関係を基に、人との関わりを広げ、相手の人権の尊重や、思いやりの心、社会性を育てる。
- ・自然や身近な社会事象について、興味や関心を育て思考力の基礎を培う。
- ・日常生活の中で、話したり聞いたりする言葉への興味や関心を育て、相手の思いを理解したり、豊かな言葉が身につくようにする。
- ・いろいろな表現活動や体験を通して、豊かな感性を育て、創造性の芽生えを培う。

### 保育方針

- ・保育に関わる専門職同士が協力し専門性を磨きながら、養護と教育を一体的に行い、保育内容の質を高め充実させる。
- ・子どもが意欲的に興味関心をもって環境に関わり、充実感や満足感を味わい、自分らしさが育つための、人・物・場の環境を整える。
- ・小学校との情報交換をしたり、交流を密にして、子どもの育つ道筋について積極的に関わっていく。
- ・家庭との連携を密にして、子どもの発達過程に即した育ちを導きながら、養育力の向上を支援していく。
- ・地域社会との連携を図り、関係機関、団体の協力を得子育て支援に関わる地域の人材の積極的な活用をおこなう。

## 4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

上松保育園は、東西に中央アルプスと御嶽山を拝する上松町中央部の自然豊かな住宅街に位置している。上松町の子ども・子育て支援事業の基本理念は「地域協働で支え合い。全ての子どもが、全ての親が、安心して安全な環境で育つまち」であり、上松町唯一の保育園として、近隣の子育て支援センターと連携し、地域の子育ての拠点としての機能を担っている。通常の保育以外に提供するサービスは、長時間保育、一時保育、障害者保育、広域保育である。

保育園の特長的な活動として行政や近隣地域と一体化した園の運営がある。町内唯一の保育園として、近隣からの認知度は高く、運動会や畑づくりの等の園内外の様々な活動において、行政や地域からの支援を自然と受ける園作りがなされている。また、行政機関の一翼として、関連機関と連携した総合的なサービス提供が出来る事が強みとなっている。

## 5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	今回が初めての受審
---------------	-----------

## 6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

### 特に良いと思う点

#### ベテラン職員による安定した保育サービス提供

町内唯一の保育園であり、公立保育園でありながら、職員の異動が少なく、熟練した職員が多く勤務している。そのため、継続性と一貫性のある、園の目指す保育サービスの提供が可能となっている。保護者アンケートにおいても、9割以上の方が「職員の提供する保育サービスと園の理念・方針が一致している」と回答しており、その事実を裏付けている。

#### わかりやすい保護者への情報提供

保育園から保護者へ、「連絡帳」、毎月の「園便り」、えほん係作成のクラスの読み聞かせ絵本紹介の「えほんだいすき」等で、園での子どもの生活の様子を、写真を交えてわかりやすく説明している。また、運動会の案内では、クラスの出し物毎の園児の立ち位置と動きがわかる図入り解説が行なわれ、カメラやビデオ撮影者への気配りが感じ取れる。保護者本位の取組みは、アンケート結果でも、9割以上の方が「おたよりや連絡帳で日々のお子さんの様子や気持ちを知ることができる」と回答している。

### 特に改善する必要があると思う点

#### 園内のルールの標準化

ベテラン職員が多く、多くの業務があうんの呼吸で進むことは、業務効率と保育サービスの質の安定の視点から考えると良好な状態であるとも言える。一方、福祉サービス第三者評価の視点からみると、文書化した手順が少なく、標準化が進んでいないと判断される。ベテラン職員には再認識の、新人職員には業務の早期理解を促すツールとして、園内ルールの、文書化を通じた更なる明確化に、検討の余地がある。

### 利用者の声の受け止め

第三者評価受審に伴い実施した保護者アンケートでは、園の保育内容や施設管理に関わる、園への期待込めた多くのコメントが寄せられているが、第三者評価制度の都合上、これらのコメントは保育園に公表する事はできない。評価項目にもあるように、自ら利用者（保護者）アンケート等を実施する事により、これらの声を受け取る事も可能である。

## 7 事業評価の結果（詳細）と講評

共通項目（別添1）

内容評価項目（別添2）

## 8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合（別添3 - 1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添４）

（平成31年3月11日記載）

今年度は今までになく三歳未満児の入園希望が多く、保育士が不足し主任保育士がクラス担任を兼務する中で第三者評価を受けることになりました。そんな状況で評価を受けることに正直戸惑いもありました。しかし、一町一園で他の園の保育を知る機会も少なく、私たちのやっている保育はこれで良いのかを振り返る機会になればと思います。

実際評価委員の方から送られてきた自己評価の設問の内容と量の多さにまず驚き、設問の聞きなれない言い回しにどう答えていいのか戸惑う職員が多く、記入に相当時間がかかりました。

今回の評価の中にベテラン職員が多いため安定した保育サービスを提供できるとありましたが、職員の多くが分かっているからとマニュアルまで作成していないことがいくつかあり、今後新しい職員が入ってきた時のために保育の標準化の意味で、マニュアル作りは必要だと感じました。

保護者の方へのアンケート結果から「外部からの不審者の侵入対策」や「行事日程の配慮」などが不十分だと思っている方がいることを重く受け止め、改善できるところは改善していきたいと思います。また、保護者の方が感じている保育内容や施設管理に関わる声は、具体的にお聞きすることはできなかったため、今後園独自のアンケートなどを行い検討していきたいと思います。